

新POSシステム導入による商品ラベルのQRコード化で管理項目が充実 賞味期限チェックや二度読み防止、集荷者管理など、直売所運営に貢献



商品ラベルを従来の13桁のバーコードから、49桁のQRコードに変更して情報量をアップ



賞味期限が切れていたり、二度読みをすると画面に大きく警告メッセージが表示される

導入先

株式会社内子フレッシュパークからりさま

- 愛媛県内子町
- 1994年開設「内の子市場」にはまる国道379号沿いの「道の駅」。年間利用者数は約85万人。POSシステムやトレーサビリティシステムを全国に先駆け導入され、安全・安心な農産物を提供。平成27年度全国モデル道の駅に選定。



導入商品

POSターミナル

RZ-A391×4台

農産物直売所販売管理システム

「新産直繁盛くん」(株式会社インプットさま製)

- 2016年1月、施設内の主要店舗である直売所とパン工房のPOSレジをリニューアル。「新産直繁盛くん」による管理を開始。

販売：株式会社インプットさま

こんなソリューションを実現しました。

導入前の課題

これまでのPOSシステムで活用してきたバーコード(13桁)の商品ラベルでは、出荷者コード・商品コード・価格の3情報だけで扱える管理項目(桁数)がいっぱいになっていました。消費者に安全・安心な商品を提供し、集荷業務などを効率化するうえでも、管理項目の追加が必要でした。

商品ラベルのQRコード[※]化で情報量が49桁に増加。賞味期限チェックや二度読み防止、集荷者管理等を実現。

POS管理サーバーはクラウド方式を採用。いつでも、どこでも売上確認等ができ、サーバー管理の負担も不要。

POSターミナルはコンパクトボディで設置しやすく、シンプルなキーボードが使いやすくとスタッフの間でも好評。

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



株式会社内子フレッシュパークからり
代表取締役社長 土居 好弘さま

■ 導入の背景

食の安全・安心の徹底と集荷体制強化が課題。時代の変化に合わせてPOSシステム一新へ。

道の駅の直売所は生産者が自由に品目・数量・価格を設定した農産物を受託販売しています。当直売所では全国に先駆けてPOSシステムを導入し、売れ筋商品や価格帯、ピークタイム等をリアルタイムで生産者に情報発信。生産者自らが効率良くマーケティングできる仕組みを早くから整えてきました。そうした中、近年では食の安全・安心のさらなる追求、生産者の高齢化に対応した集荷体制の整備などを進めており、これに即した新たなPOSシステムの構築を目指していました。

■ 選ばれた理由

商品ラベルのQRコード化で情報量がアップ。コンパクト&シンプルなPOSターミナルも評価。

従来のPOSシステムにおけるバーコード方式(13桁)の商品ラベルでは、出荷者コード・商品コード・価格の3情報だけで管理項目がいっぱいになり、それ以上情報を組み込むことができませんでした。今回ご提案いただいた販売管理システム「新産直繁盛くん」はQRコード※方式(49桁)採用で管理項目が大幅に増やせるため、私たちが目指す新システムの構築に欠かせないと考えました。また、このシステムを最大限に活かすシャープ製POSターミナルは、コンパクトボディで設置しやすく、スタッフが扱いやすいシンプルなキーボードを高く評価しました。

■ 導入後の効果

消費期限チェック、二度読み防止、集荷者管理に貢献。クラウド方式でいつでもどこでもPOS情報にアクセス。

商品ラベルの管理項目が増やせたことで、レジでの消費期限チェックや個別コードによる二度読み防止、集荷者コードによる集荷委託の効率的な管理運営などが新たにできるようになりました。消費者にはより安全・安心な商品を提供でき、ご高齢の生産者には充実の集荷体制で負担を軽減しています。また、「新産直繁盛くん」の管理サーバーはクラウド方式のため店舗でのサーバー管理が不要。さらに、いつでもどこでもPOS情報の確認ができ、生産者や消費者も自宅にいながら専用ページで様々な情報を確認できます。

■ 今後の展望

アレルギー情報のレジでのチェックも計画中。内子町の農業振興に地域社会と共に邁進。

肥料や農薬等の情報を確認できるトレーサビリティ管理も一方で強化していますが、今後は新POSシステムを活用してアレルギー情報の提供やレジでのチェックにも取り組む計画です。これからも内子町の農業振興に地域社会と共に邁進します。

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



使い勝手の良いPOSターミナルがスタッフの皆さまに好評



QRコードを採用した商品ラベルで管理項目が大幅に拡充

■ システム概念図

